【　ＹＯＳＡＫＯＩソーランまつり（新琴似会場）　】

平成4年、札幌にて第1回の祭りが10チームの参加で開催。地元かららは、平成8年6月、第5回目に「新琴似天舞龍神」が初参加。

新琴似会場も第二横線(三番通―四番通；350m間)で1日目12チーム、2日目13チームが各１時間半にわたり、踊りを繰り広げた。 以後、平成27年6月には第24回、新琴似会場は記念の20回目を迎えた。

この間、地元の「新琴似天舞龍神」は「北海道の開拓魂 北の大地」をテーマに、チーム名にふさわしい素晴らしい演舞を披露。

チーム結成後から輝かしい成績を収め、全国に「新琴似」の名を響かせ、現在までにYOSAKOIソーラン大賞４回(平成16,17,18,19年)、準大賞４回(平成15,20,21,22年)、新人王賞(平成8年;初参加)、優秀賞１回(平成10年)、３位２回(平成11,13年)、札幌市長賞(平成14年)の実績。

新琴似会場では数万人の地域住民・市民が沿道を埋め尽くし観覧、大きな感動を与えた。平成20年には、「新琴似会場」を支援する「新琴似会場サポート会」も誕生した。



【 新琴似中央夏祭り 】

新琴似中央公園(新琴似8条11丁目)を会場に、平成27年8月8・9日、第49回目の「新琴似中央夏祭り」が開催され2万人の参加者で賑わった。

最初の頃は、旧市民生協新琴似店の駐車場を会場に開催していたが交通安全等の関係から、新琴似中央公園での開催となった。

祭りは、子どもから大人まで、家族連れで食べたり、飲んだりして楽しめる企画を用意。「子どもみこし」、「歌謡ショー」、「中学校吹奏樂演奏」、「子ども盆踊り」、「ビンゴゲーム」、「アイドル歌姫ライブショー」、「大人の盆踊り」、「3万円豪華賞品の大抽選会」など多彩。

主催は新琴似中央商店会と光陽・四番第三・五番第三・みどり・十条の5町内会加盟の実行委員会。120を超える商店と多数の個人も祭り成功のため協賛。

平成26年12月25日には中央公園内に屋外ステージが札幌市の協力で完成し、平成27年5月13日には、こけら落としが行われた。

また、9月6日には、地元の若手音楽グループによる「第１回新琴似音楽祭」も開催された。



【 連町夏まつり 】

従来の「連町女性部夏まつり」を、連町全組織をもって開催する「連町夏まつり」へとリニューアル、まつりのテーマを「子どもも大人もみんな笑顔に！」とし、地域の賑わいを創出します。

祭り会場はプラザ新琴似大ホールと学校前道路を使用することにより、客席数も増え屋内外で飲食やアトラクションを楽しむことができます。

連町直営店のほか、地域飲食店の出店もあります。



【 新琴似神社祭 】

毎年5月20日に春季の新琴似神社祭が行われている。新琴似屯田兵第一陣が入地した明治20年5月20日にちなんでいる。

明治30年、大神宮遥拝所として例祭を執行。これが後に新琴似神社とな る。　明治39年5月新琴似神社奉遷式を挙行。

春の例大祭(5月19日宵宮祭、20日例祭、21日後鎮祭)秋の例大祭(9月19日宵宮祭、20日例祭、21日後鎮祭)には多数の出店があり、子ども連れ親子で賑わう。他に正月の初詣、節分、七五三などの行事がある。

新琴似連合町内会は昭和40年7月1日、新琴似神社旧社務所にて創立総会を行った。

